

理由

馬匹改良ノ事業ハ宮内省ニ於ケル牧場事業ト密接ノ
關係アルヲ以テ馬政委員中ニ主馬頭ヲ加フル必要アルニ
依ル

鐵甲五九、六〇ヲ多ク

ナ有三十ノ官報ニテ布ラ要ス

明治四十二年十二月廿六日

内閣書記官



内閣總理大臣

木

内閣書記官長

安



別紙鐵道院總裁具申鐵道管理局ノ名稱位
置及管理區域中改正ニ関スル内閣告示案
二件ハ提案附箋ノ通ニテ然ルヘシ

附箋ノ廉ハ鐵道院ハ協議済

参照

明治四十一年内閣告示第五号抄録

名稱	位置	管 理 區 域
----	----	---------

中部鐵道管理局

昌平橋篠井間及支線

名古屋野尻間

通第四三四號

明治四十二年十一月二十六日

鐵道院總裁男爵後藤新平



内閣總理大臣侯爵桂 太郎殿

中央東線塩尻奈良井間未幾十二月一日ヨリ
營業開始ノ豫定ニ付左安永内閣告示發
布相成度

按

内閣告示第九號

明治四十一年十一月廿二内閣告示第五號鐵道管

理局、名稱位置及管理區域中中部鐵
道管理局、（東京府）平橋篠井間及支線
シ昌平馬（馬場町）良井間及支線、鹽尻篠
井間（長野縣）以ソ来ル十二月一日ヨリ施行ス
明治三十二年十二月三十日 内閣總理大臣

運第四五二六號

明治四十二年十一月二十六日

鐵道院總裁男爵後藤新平



内閣總理大臣侯爵桂 太郎殿

中央西線野尻須原間来ル十二月一日ヨリ鐵
道運輸營業開始ノ豫定ニ付左案内閣
告示發布相成度

廢案 為案、合ス

内閣告示第

按 號

明治四十一年十一月廿二日内閣告示第五號鐵道管理

理局、名稱位置及管理區域中中部鐵
道管理局、柳昌平橋篠井間及支線
シ昌平橋奈良井間及支線、鹽尻篠
井間、改メ来ル十二月一日ヨリ施行ス
明治十一年十二月三十日 内閣總理大臣

運第百九十六號

明治四十二年十一月二十六日

鐵道院總裁男爵後藤新平



内閣總理大臣侯爵桂 太郎殿

中央西線野尻須原間来ル十二月一日ヨリ鐵
道運輸營業開始ノ豫定ニ付左案内閣
告示發布相成度

廢案 第百九十六號

内閣告示第

按 號

明治四十一年十一月廿二日内閣告示第五號鐵道管理

局、名稱位置及管理區域中中部鐵道
 管理局、欄名古屋野尻間ヲ名古屋須原
 間ト改メ、未_レハ十二月一日ヨリ施行ス
 年 月 日 内閣總理大臣

録甲五一

明治四十二年十一月一日

内閣總理大臣 木

法制局長官

外務省 陸軍省 海軍省 文部省 逓信省

内務省 司法省 農商務省

別紙内閣總理大臣請議鐵道院官制中
 改正外六件ヲ審査スルニ右ハ相當ノ
 儀ト思考ス依テ請議ノ通閣議決定セ
 ラレ可然ト認ム但シ呈案付箋及修正

十五